

自衛隊入隊予定者の沼津市長への面会

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は3月12日（金）、沼津市役所において、3月末に同市から自衛隊に入隊する村上ゆきさんの頼重秀一沼津市長への面会を実施した。

例年同市で行われている入隊激励会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できなかったことから、入隊予定者の代表として面会したもの。村上さんはこの春大学を卒業後、航空自衛隊幹部候補生学校（奈良県）への入隊を予定している。

市長との懇談において村上さんは、「今までたくさんの方に支えていただいたおかげで、今自分がここにいられていることを改めて実感しています。今度は私がお世話になった方々への感謝の気持ちを形にしていけるよう、将来自衛官としての使命を全うすることを目指し、自分自身を鍛錬して参りたいと思います」と熱い抱負を語った。

頼重市長は「近年、平和維持はもちろん、自然災害における救助活動など、自衛隊が地域社会においても力を尽くされています。大変素晴らしい志をもって、大いに活躍いただけると嬉しいですね」と期待を込めた。

同市からは村上さんのほか、自衛隊の中核として活躍する一般曹候補生9人、自衛官候補生7人、将来の陸上自衛官を育てる高等工科学校への入校者4人が、それぞれの夢へ向かって自衛官としての第一歩を踏み出す。

静岡地本は、これからも入隊・入校予定者の成長を見守りつつ、サポートを実施していく。



入隊予定者、武山駐屯地に旅立つ

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は3月26日（金）、本部庁舎（静岡市）において、陸上自衛隊武山駐屯地（神奈川県横須賀市）への入隊予定者19人の見送り行事を実施した。

雲一つない晴天のもと、静岡県中部地区から陸上自衛隊一般曹候補生として入隊予定の若者たちが、これからの自衛官人生への期待と不安を胸に、家族とともに続々と集まった。

家族や地本の隊員が見守る中、入隊予定者は少し緊張した面持ちで整列し、杉谷本部長が「まずは目の前のことを一生懸命やってみよう。努力は必ず報われる。その積み重ねが自分の成長に繋がる。そして将来どこかで一緒に仕事できることを楽しみにしている。精一杯頑張ってください」と激励の言葉を送った。

入隊予定者は、集まった家族や友人、担当広報官、本部職員からの盛大な拍手とエールを受けて大型バスに乗り込み、武山駐屯地へと旅立った。

静岡地本は、引き続き入隊者やその家族と連絡を取り合い、一人前の自衛官に成長できるようサポートしていく。

